

# あらゆる角度から総合的に審査

## 講評



専門審査委員  
筑波大学 芸術系教授

五十嵐 浩也

### デザインは概念の仮説提示から

デザインが行っていることは形態を綺麗にすることではない。形態はデザインという活動の結果に表れる表象の一つであり、その形態を綺麗にすることがデザインの目的ではない。デザインが行っていることはヒトとモノの関係性を良く

るわけでもない。デザインを行う人間はヒトの行為と、モノの動きとの関係を幻視する。実態としてモノがない状態において幻視できるかどうかがデザインの力とも考えられることができる。デザインができることは、この幻視された概念を実体化した仮説と

め、必然的に新しいモノを創造する。デザインがイノベーションと関連するゆえである。このような視点を持つて今回はじめて審査に参加した。生産財を対象とする機械工業デザイン賞への応募製品は、従来の工業デザインにのっとり、とまると

が行われていると感じられる製品に多く対することができたと思う。考えてみれば生産財といえども、使用する人間があり、かつその製品が置かれる環境は人間が過ごす環境である。もと

モノからの発想を基準する傾向があるのではないかと、いう思いが当初あった。しかし、その思いは杞憂であつた。根本的な発想、プロセスが前述のような関係性構造になっていると、言い切れないが、モノとヒトとの両面からデザイン

モノの両面を考えなければならぬのは当然のことなのかもしれない。デザインは概念の仮説提示から始まるものであるが、この仮説の内容が、実はデザインの対象である。例えば、扇風機のデザインを考えた場合、ヒトとモノの関係性の仮説はなんなのだろうか？この場合、人間と扇風機の間に介在する最も大きな要素は「風」である。よって扇風機のデザインは「風」が一番大きなデザイン対象であると考えることができ、どのような風をどんな時に吹かせるのかということデザインすることが大切である。生産財のデザインの場合はどうなるのだろうか？そう思いながら審査を行った。



専門審査委員  
東京芸術大学教授

尾登 誠一

### イノベーション・ジレンマ

審査を終わりの一段落としての総評は、やや覇気に欠け、驚きのあるデザインが少ないというところである。革新性や独創性など新局面、新機軸、新鮮味のなさが見えるところであつた。イノベーション(Innovation)とは、既成のモノやシステムなどに

メンタル・イノベーション(漸次的技術革新)に留まるというところだ。よくいわれるのだが、我が国のイノベーションは、ハード偏重の技術主導型が主流であり、ユニバーサルデザインなどによるソフト対応のアプローチを採用する例は決して多くない。ま

対して、全く新しい技術や考え方を取り入れる新価値創造への挑戦であり、社会に大きな変化を起こすことを指す。翻って驚きのない現状は、ビジネスモデルを維持しながらの部分改良、小革新を繰り返すインクリメント(標準機能)を搭載しつつコストパフォーマンスに優れた商品戦略に固執するの、はたまた、洗練化する技術オリエンテッドな状況の中で革新的製品戦略に打って出るのか、先見性にねがず企業の洞察力(Insight)の二面性を垣間みるデザイン審査であつた。

すべく持続型技術主導の優位性で商品開発する事例であつた。そしてもう一つは、企業理念に徹し、環境エンジニアリングが試行錯誤の上にとり着いた革新的概念で、新製品としてのラジカルイノベーションを成立させていた。

優れた品質を持つ製品を誇るがゆえに、その開発は、デファクトスタンダード(標準機能)を搭載しつつコストパフォーマンスに優れた商品戦略に固執するの、はたまた、洗練化する技術オリエンテッドな状況の中で革新的製品戦略に打って出るのか、先見性にねがず企業の洞察力(Insight)の二面性を垣間みるデザイン審査であつた。

優れた品質を持つ製品を誇るがゆえに、その開発は、デファクトスタンダード(標準機能)を搭載しつつコストパフォーマンスに優れた商品戦略に固執するの、はたまた、洗練化する技術オリエンテッドな状況の中で革新的製品戦略に打って出るのか、先見性にねがず企業の洞察力(Insight)の二面性を垣間みるデザイン審査であつた。



専門審査委員  
日本工業大学教授  
工業技術博物館長

松野 建一

### 中小企業が独創性など発揮

・再現性を上げるとともに、優秀な人材を本来担当すべき創造性の高い仕事に戻せる可能性のある腕型ロボットが注目された。同白書では市場規模は小さくても特定分野で世界的に高いシェアを有する中堅・中小企業など、新たな輪の担い手」の育成も必要

2014年度は「新ものづくり補助金」や「生産性向上設備投資促進税制」の活用で、製造業などにおける老朽化した諸設備がかなり最新設備に更新されると思われるので、今回受賞の各種機器の優秀さが広く知られて、採用が進むことを

・再現性を上げるとともに、優秀な人材を本来担当すべき創造性の高い仕事に戻せる可能性のある腕型ロボットが注目された。同白書では市場規模は小さくても特定分野で世界的に高いシェアを有する中堅・中小企業など、新たな輪の担い手」の育成も必要

2014年度は「新ものづくり補助金」や「生産性向上設備投資促進税制」の活用で、製造業などにおける老朽化した諸設備がかなり最新設備に更新されると思われるので、今回受賞の各種機器の優秀さが広く知られて、採用が進むことを

大いに期待しているところである。中小企業が新規性、独創性の高い機器やシステムを開発し、初めての最優秀賞(経済産業大臣賞)や団体賞も獲得しており、新たな輸出や輸出の拡大につながる審査するのが特徴である。第2次現物審査では、技術担当者や造形担当者の連携についても尋ね、実機の稼働・操作状況などを確認して質疑応答を行い、各委員が総合判断をする。

近年は、すべての申請機種が操作性・安全性・環境性・省エネルギー性にも配慮していることは、当然のこととはいえ、喜ばしい。しかし、技術的新規性・独創性・困難性がどこにあったのかの説明が不十分な場合もあつたのは残念である。

**HORIBA**  
Scientific



本装置は、第44回機械工業デザイン賞審査委員会特別賞を受賞いたしました。

## 5つのテクノロジーを搭載した 新世代 蛍光X線分析装置

欧州有害元素規制(RoHS指令、ELV指令)をクリアするための検査機器が求められて既に10年以上が経ちました。中国などでも同様の規制が公布され、さらにハロゲンフリーの対応も新たなテーマになっています。HORIBAは、変化するお客様のニーズにお応えできる新しい分析環境をご提案いたします。有害元素検査装置 MESA-50は、話題のAs、Sbの分析ニーズにもお応えいたします。

### Speedy

1 高性能SDD\*検出器により測定時間を大幅に短縮。(当社比)有害元素全般の測定効率が向上しました。もちろんハロゲンも大気中で分析可能です。\*Silicon drift detector

### Small

2 持ち運びができるA4サイズのコンパクト設計。バッテリー内蔵型なので充電すれば電源のない環境でも分析作業が可能です。

### Simple

3 液体窒素も真空ポンプも不要なシンプルな設計。ランニングコストが抑えられ、しっかり省エネ。メンテナンスを最小限にしました。

### Smart

4 HORIBAが長年蓄積したデータ管理機能を搭載。合否判定機能、Excel®を利用したレポート機能も充実。インターフェースは日本語、英語、中国語にも対応。

### Safe

5 X線を取り扱う装置のため、徹底的に安全に配慮しました。



2013年度グッドデザイン賞 受賞

有害元素蛍光X線分析装置  
**MESA-50**

Excelは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

株式会社 堀場製作所

〒601-8510 京都市南区吉祥院の東町2番地 (075) 313-8121 (代) <http://www.horiba.co.jp> e-mail: [info@horiba.co.jp](mailto:info@horiba.co.jp)

Explore the future

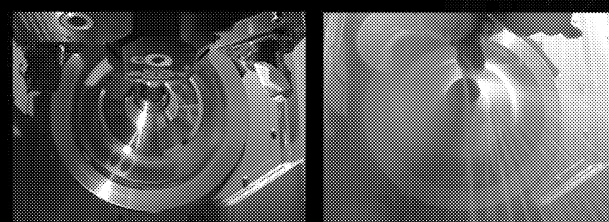
Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

**HORIBA**

モジュール型生産設備

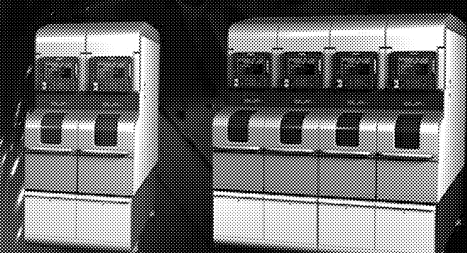
**DLFN**

『450 mm @ Innovation』



**FUJI**  
Innovative spirit

2 modules unit  
Machine width : 900 mm



4 modules unit  
Machine width : 1,800 mm

搬送装置を組み込んでフルターンキーを実現。自動搬送ロボット搭載。



粗材 入口ストッカ & 位相決め 旋削 旋削 計測 穴加工 バリ取り 洗浄 出口ストッカ 加工品

ミニチュアファクトリーの提案

8 モジュールで全長 3,600mm

富士機械製造株式会社 工作機械事業本部

[www.fuji.co.jp](http://www.fuji.co.jp)

〒470-0452 愛知県豊田市迫町戸尻480番地 TEL (0565) 76-2640 (代表) FAX (0565) 76-5704 (代表)